

議題 新規テーマの提言について

項目 まとめ

### 第 17 回基準諮問会議における提案（会計基準レベル）

1. 以下の項目については、事務局で検討の結果、以下の対応を提案する。なお、事務局の検討にあたっては、テーマ担当委員のアドバイスを受けている。

項目	対応	資料番号
継続企業の前提が成立していない状況で適用する会計基準の開発について	特別目的の財務諸表の監査に関する企業会計審議会の動向を見守り、その結論が出た段階で検討を行い、次回以後の基準諮問会議で検討を行うこととしてはどうか。	資料(3)-2

### 第 16 回基準諮問会議における提案（実務対応レベル）

2. 以下の項目については、事務局で検討の結果、以下の対応を提案する。なお、事務局の検討にあたっては、テーマ担当委員のアドバイスを受けている。

項目	対応	資料番号
繰延税金資産の回収可能性（JICPA 監査委員会報告第 66 号関連）	資料(3)-3 に記載した論点について、企業会計基準委員会に調査することを依頼し、基準諮問会議はその報告を受けるとしてはどうか。	資料(3)-3、 参考資料(3)-3

### 第 16 回及び第 17 回基準諮問会議における提案（実務対応レベル）

3. 以下の項目については、実務対応専門委員会における評価を踏まえ、以下の対応を提案する。

項目	対応	資料番号
ポイント引当金	今回は ASBJ の新規テーマとして提言せず、基準諮問会議で保留するテーマとしてはどうか。	資料(3)-4
リストラクチャリングに関連する引当金、早期割増退職金の会計処理	リストラクチャリングに関連する引当金については、包括的な検討は難しいと考えられるが、引当金全体に関係させない方法の検討も含め、ASBJ の新規テーマとして提言してはどうか。 また、早期割増退職金についてはガイダンスを開発する ASBJ の新規テーマとして提言してはどうか。	資料(3)-5、(3)-6

### 第18回基準諮問会議（今回）の提案

4. 以下の項目については、事務局で検討の結果、以下の対応を提案する。なお、事務局の検討にあたっては、テーマ担当委員のアドバイスを受けている。

（会計基準レベル）

項目	対応	資料番号
後発事象	現在検討を中断しているが ASBJ で審議中のテーマである。次回の基準諮問会議で、ASBJ における状況の報告を受けることとしてはどうか。	資料(3)-7
完全親会社が完全子会社に無対価会社分割で事業を移転する場合の会計処理	会計基準レベルではあるが、技術的な内容であるため、実務対応専門委員会に新規テーマの評価を依頼してはどうか。	

（実務対応レベル）

項目	対応	資料番号
「企業結合に関する会計基準」に係る条件付取得対価の取扱いについて	実務対応専門委員会に新規テーマの評価を依頼してはどうか。	資料(3)-8

### 連結範囲に関する第17回基準諮問会議での提案

5. 第17回基準諮問会議において、連結範囲の見直し（IFRS第10号とのコンバージェンス）について新規テーマとして採り上げるべき旨の提案がなされた。同基準諮問会議では、事務局より、ASBJではすでにIFRS第10号と日本基準との差異の分析等の検討を進めている旨の説明がなされた。これに対して、提案を行った委員から、ASBJの審議状況の報告を求める発言がなされ、今回、審議状況を資料(3)-9にまとめている。

### 前回までの基準諮問会議で提案され、保留となったテーマ

6. 以下のテーマについては、前回までの基準諮問会議で提案され、保留となったテーマである。

（会計基準レベル）

- 比較情報（第16回基準諮問会議提案）
- 金融商品の消滅の認識（第16回基準諮問会議提案）

(実務対応レベル)

- 種類株式の会計処理（第16回基準諮問会議提案）
- 現物分配の会計処理（第16回基準諮問会議提案）
- 契約に含まれるリース取引（第16回基準諮問会議提案）

以 上